

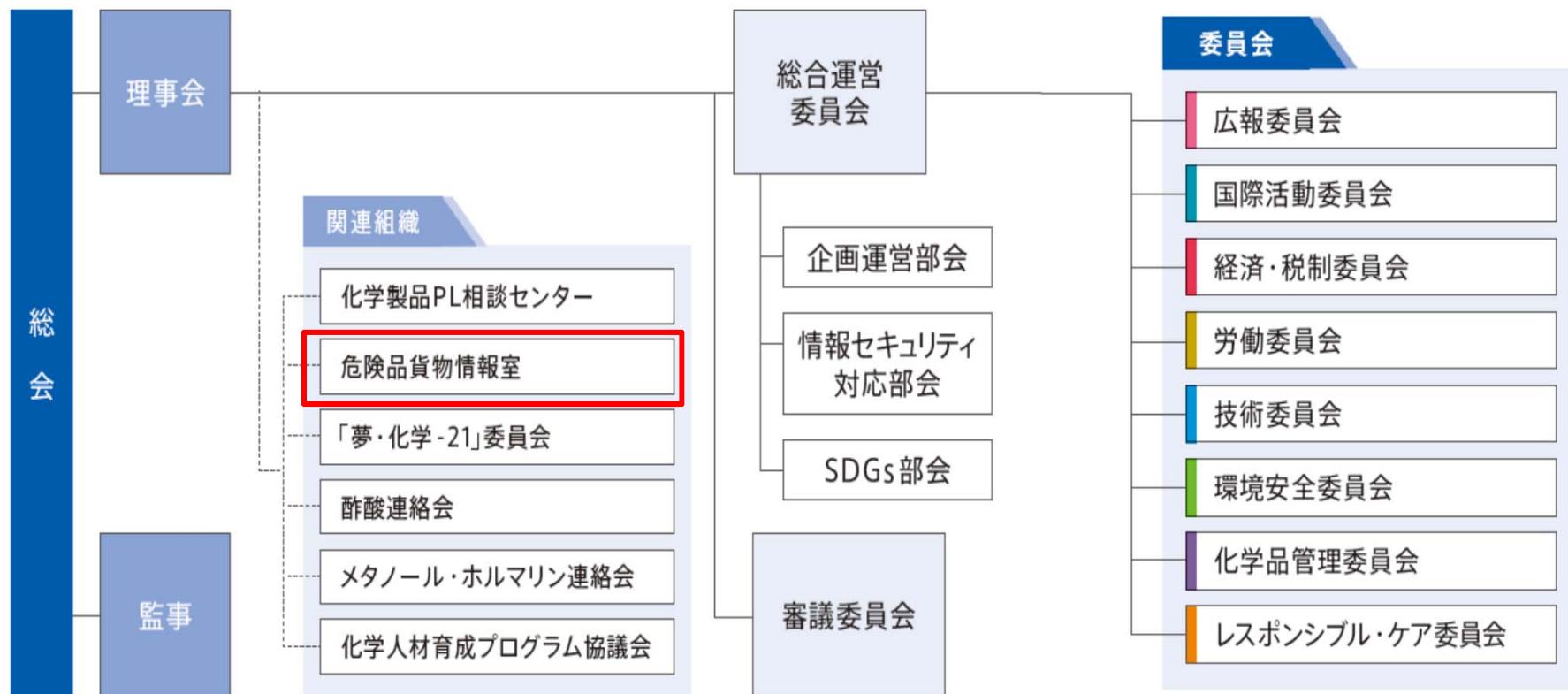


# 危険品貨物情報室(DGIO)の活動紹介

## DGIO: Dangerous Goods Information Office

2018年12月  
一般社団法人 日本化学工業協会  
環境安全部

# 日化協 組織図



日化協 アニュアルレポート2018より抜粋



# 日化協 DGIOとは

■ 日化協の関連組織であり会員制の組織

■ 対象会員

- ・航空危険物輸送に係わる航空会社、航空代理店
- ・同上輸送に係わる企業及び関係団体(荷送人)

■ 主な業務

- ・航空危険物輸送の安全を確保するため、会員の皆様からの危険物の航空輸送実務に関するご相談に、電話で応対
- ・航空輸送に関する国内外規則に基づく情報提供、及び適切な助言(分類・ラベリング・容器、包装等)を実施



# 航空輸送に関する国内外規則

1. 危険物輸送に関する国連勧告(通称:オレンジブック)
2. 国際民間航空機関(ICAO)の技術指針(ICAO-TI)
3. 国際航空運送協会(IATA)危険物規則書(IATA-DGR)
4. 国内航空法、施行規則、「航空機による爆発物等の輸送基準等を定める告示」等



## 荷主の責任

- \* SDS等で、製品に関する情報を伝えることが重要
- \* 化学会社では、顧客は元より、物流会社等、その製品に関する全ての方々に対して、安全データの開示が必要
- \* 必要書類へ署名等、全ての最終責任は荷主



# 日化協DGIO事業の背景と経緯

- 化学物質のライフサイクルにおける化学物質管理の一つとして、「陸海空の物流における安全確保」は不可欠
- 化学業界として、「物流安全」を、レスポンシブル・ケア活動における6本柱の一つとして展開
- 特に航空輸送において事故が発生した場合、被害が重篤、甚大

→ 化学工業界として、「化学物質の航空輸送における安全確保」に貢献すべく、平成12年(2000年)に日化協内にDGIOを設立し業務を開始



# DGIO事業の現況

■ 年間約3千件強の電話相談に専門家が応対  
毎週月曜日～金曜日、9:00～17:00(お昼1時間休み)

## ■ 情報提供上の特徴

- ・化学物質及び航空運送に関する安全輸送情報について提供
- ・特に**化学物質管理**については、本格的に情報を提供出来る  
国内唯一の機関として社会的に貢献

## ■ 航空貨物を取り巻く環境変化に対応

最近の航空貨物における輸送形態の多様化及び危険有害性  
を有する化学製品の種類及び量の増加

→ 問い合わせ内容の複雑化、高度化に対応し、  
質、レベルの向上に努めている



# 航空危険物輸送上の不具合事例

## ■国内事例

- ・花火等の空輸違反

## ■海外事例

- ・日本の化学品製造メーカーより米国へ危険物を航空輸送
- ・米国の受入れ空港において、FAA(米連邦航空局)が規則違反を発見
- ・違反原因  
手手続き時における申告書の記載ミス
- ・米国における制裁  
最終的に国際規則等違反として、FAA(米連邦航空局)より荷送人に  
対し、罰金数千万円の制裁
- ・責任の所在  
申告手続きは輸送業者が代行したが、責任は申告者である荷送人  
(化学品メーカー)に遡及



# 入会の方法と会費について

## ■入会資格

日本化学工業協会会員以外でも可

## ■入会時期

随时入会可

## ■会費

- ・入会初年度 基礎会費(年間約15万円)
- ・2年目からは、問合せ件数に応じて、年間約15万円～

## ■その他ご不明の質問

お気軽にお問合せ下さい



# お問い合わせ先

社団法人 日本化学工業協会  
危険品貨物情報室(環境安全部内)

担当者:八木、鈴木

〒104-0033

東京都中央区新川1丁目4番1号(住友不動産六甲ビル)

TEL: 03-3297-2568

FAX: 03-3297-2606